

# 黒壁ガラス館

## 【キーワード】

〔施設種別〕 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 地域拠点施設  
〔運営主体〕 市区町村 法人 NPO 個人〔補助金〕 内閣府 国土交通省 厚生労働省  
〔建物形式〕 1棟単体型 複数棟集合型 団地型〔建物状況〕 新築 増築 改修 一部改修 既存  
〔対象者〕 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 建物外観

1900年に百三十銀行として建ててから明治銀行、タバコ倉庫、長浜カトリック教会等を経て、現在は黒壁ガラス館として運営している。街のシンボルとして何度も転用されながら利活用されてきた建物である。見学時はちょうど工事を行っていて街のシンボルとなっていた外観を見ることができなかったが、明治から残る建物の内観の雰囲気は残っていた。

## ■施設概要

所在地：滋賀県長浜市元浜町 12-38

施設種別：店舗

運営事業者：株式会社黒壁

構造規模：木造2階建

## ■運営概要

NPO法人まちづくり役場、株式会社黒壁など様々な団体が関わりながらまちづくりが進められている。黒壁ガラス館は株式会社黒壁を中心に運営している。

初めは大都市で使われているような手法で運営したが、失敗。しかし、その失敗から地方には地方でしかないやり方があるのだと学び、観光に来る人の求めるものとのマッチングができているのか検討し直し、現在まで30年続く経営が行われている。

古いものとガラスの組み合わせを楽しんでもらうために、交流するためだったり、体験して持ち帰ってもらったり、製作シーンを見てもらうようなお客様と触れ合える場所となっている。

## ■建物について

1900年に旧百三十銀行として建ち、明治銀行、タバコ店の倉庫、長浜カトリック教会等を経て1989年より現在の黒壁ガラス館になっている。入口階段、室内階段がともに急だったりとバリアフリーの面では問題があるが、街のシンボルとして昔ながらの景観をしっかりと残して



写真2. 周辺状況 (Google マップより)

長浜駅から徒歩約5分。

商店街の一部であり、付近にはまちづくり会社やまちづくりNPOなど活性化している地域の中心地となっている。



写真3. 1F 売り場

1Fではガラスのできた置物、グラス、箸置きなどが売られている。

見学日時：2018.12.21

見学者：修士2年 齋藤亮太  
学部4年 高橋亮哉



写真4. 2F 売り場

2Fではガラスでできたアクセサリー等の売り場となっている。



写真5. 2F 展示スペース

2Fの奥には展示スペースがあり、高額なものを取り扱っていた。



写真6. 屋外スペース

施設入口や屋外スペースには階段の上にスロープがついていたが、入口の方は勾配が大きかったりとバリアフリーの問題解消が難しそうであった。

いる。しかし、周辺を含めて観光の要素が増えたため、現在は地域の人あまり足を運ばない場所となっている。スペースとしてはかなり限られていて、お客様に雰囲気味わってもらうために事務機能や配線設備など職員にとっては必ずしもいい環境とは言えないような状態となっている。

#### ■改修に至った経緯について

1900年からある現黒壁ガラス館は1944年より1987年の43年間は長浜カトリック教会として使われていたが別の場所へと移動した。その際に解体するか検討したが、郊外にショッピングモールができて、地域住民の高齢化が進むとともに商店街が廃れてしまっていた。何とかしようとする人も少なかったことから、地域と距離を置きながらも、街のシンボルとして残したいという地域からの想いは強かったため、地域資源として改修することとした。

#### ■地域との関係について

株式会社黒壁を中心に行った黒壁ガラス館への改修を1年目に商店街の人達とは距離を置きながら行った。2年目以降、周辺のまちづくりを進めるうちに、商店街でも何とかしようという意識が生まれ、活気が戻った。街全体で一つになってまちづくりを進めたことでNHKで紹介されるなど評価された。年に200万人以上くる街となったが、何とかしようとしてまちづくりを進めた商店街の若者も現在は歳をとり、後継の問題を抱える。



写真6. 黒壁ガラス館前

黒壁三十祭が開催されていた。

現在は三十号館まで作られ、適宜改修しながら利用されている。